



ツキノワグマを知る ～人と野生生物との 共生について～

ツキノワグマは、主に本州と四国の広葉樹林が多い山間部に生息しています。

が、近年、里山や人間が多く住んでいるところにもクマが出没するというケースが相ついでおり、お互いがお互いの脅威になっています。

人と野生動物との距離が近くなってしまった今、お互いに優しい社会を築くために必要なことは何か、互いの生に優しい社会のありかたはどのようなかを一緒に考えてみましょう。



<日時> 7月16日(水)
13時30分～15時30分

<講師> 西堀 正英さん
(広島大学生物生産学部 教授)
増田 和志さん
(広島大学大学院スマートソサイエティ実践科学研究院)

<内容> ・ツキノワグマの生態を知る。
・最新の研究から～空気中環境のDNAから野生動物出沒予測をする～

<定員・対象> どなたでも20人

<申込み> 7月14日(月)まで

お申し込み・お問い合わせ

☆ 公益財団法人広島市文化財団 広島市河内公民館 ☆
広島市佐伯区五日市町大字537番地 ☎(082)928-0219

■休館日: 火曜日・祝日(火曜日と重なる場合その翌日も)

■受付時間: 8:30～17:15(木曜日・金曜日は21:00まで)